

6 小林華光《鶏置物》

昭和四年（一九二九）

銀、彫金

雄：高二六・五 雌：高一六・〇

昭和三年の大札に際して貴族院より香淳皇后に献上された品。香淳皇后の干支が卯であり、その七つ目の干支（裏干支）が酉であることから、この主題が選ばれたという。なお、昭和天皇には貴族院より羊の置物が献上されており、未は昭和天皇の干支、丑の裏干支にあたる。作者の小林華光（一八八〇～一九五五）は、モデルのチャボを自宅で飼育し、本作の製作に臨んだという。



7 高島清七

《若狭瑪瑙細工 鶏》

昭和五十五年（一九八〇）頃

瑪瑙

雄：高一・八 雌：高五・五

若狭瑪瑙細工とは、福井県小浜市で産出されていた瑪瑙の原石を使った細工物のことで、江戸時代中期に原石を焼いて美しい赤色に発色させる、世界的にも珍しい焼入れの技法が確立された。明治期以降は彫刻技術が発展して置物や装身具などが作られ、特にニワトリは伝統的な題材として作られ続けている。昭和五十五年、秩父宮勢津子妃が選手権競漕大会のため小浜市を訪問された折に、同市より贈られた品である。

- ・各展覧会図録中，作品名や作者，制作年などの表記は，図録発行当時のものです。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録の著作権はすべて宮内庁に属し，本ファイルを改変，再配布するなどの行為は有償・無償を問わずできません。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録（PDF ファイル）に掲載された文章や図版を利用する場合は，書籍と同様に出典を明記してください。また，図版を出版・放送・ウェブサイト・研究資料などに使用する場合は，宮内庁ホームページに記載している「三の丸尚蔵館収蔵作品等の写真使用について」のとおり手続きを行ってください。なお，図版を営利目的の販売品や広告，また個人的な目的等で使用することはできません。

鳥の楽園 — 多彩、多様な美の表現

三の丸尚蔵館展覧会図録 No. 68

編集 宮内庁三の丸尚蔵館

制作 株式会社 東京美術

翻訳 黒川廣子

発行 宮内庁

平成二十七年三月二十一日発行

© 2015, The Museum of the Imperial Collections, Sanmonaru Shozokan